

第3回「英語をはじめとする学習に関する保護者アンケート」集計結果

●<小学校の外国語活動>

授業は「ネイティブの外国人英語専門教師」が行うのが望ましい」が7割超

●「子どもを留学させたい」と考えている保護者は75.0%

財団法人 日本英語検定協会(本社:東京都新宿区、理事長 道明文夫、以下英語検定協会)は、2010年度の第3回児童英検試験を、2月6日に東京・名古屋・大阪の公開会場で実施いたしました。

その際、受験者(児童)に付き添って来場した保護者の方々に対して行ったアンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。このアンケートは、児童英検を運営する英語検定協会「児童英検課」が昨年発足させた『こども“ワクワク”英語プロジェクト』の一環として児童英検試験開催時に毎回実施しているもので、特に今回は4月から小学校高学年で必修化される外国語活動や学習環境などについて質問をしました。

【アンケート調査概要】

調査名: 児童英検 第3回「英語をはじめとする学習に関する保護者アンケート」

調査対象: 2010年度 第3回「児童英検」公開会場受験者(児童)の保護者

有効回答数: 84名

調査実施日: 2011年2月6日(日)

調査方法: 児童の試験中、保護者控室にてアンケート用紙に記入(所要時間 約10分)

【ポイント】

●外国語活動は「ネイティブの外国人英語専門教師」を望む声が71.4%

質問2 小学校の英語の授業はどのような教師が行うのが理想だと思いますか?

「英語がネイティブの外国人英語専門教師」という回答が71.4%と最多。4/6に発表した英語指導者を対象にしたアンケートで同様の質問をし、「英語力が高い日本人の英語専門教師」という回答が最も多く、興味深い結果となりました。

●子どもに留学させたいと考えている保護者は75.0%

質問4-1 お子さまに留学させたいと思いますか?

4人に3人の保護者が「留学させたい」(75.0%)と回答しました。その反面、英語を学ばせているものの「留学させたくない」と考えている保護者も23.8%おり、留学が必ずしも英語学習の延長線上にあるものではないことがうかがえます。

●「子どもの教育にもっと費用や時間をかけたい」と考える保護者が半数以上

質問5 子どもの教育にかかる費用についてどう思いますか?

質問6 子どもの教育にかかる時間についてどう思いますか?

子どもの教育について、費用を「もっとかけたい」「もっとかけたいが今は難しい」と考えている保護者が51.1%、時間では54.7%とそれぞれ半数以上を占めています。

【財団法人の概要】

[名称] 財団法人 日本英語検定協会 [所在地] 〒162-8055 東京都新宿区横寺町55番地

[理事長] 道明文夫 [設立] 1963年4月 [TEL] 03-3266-6555(代)

[URL] (児童英検) http://www.eiken.or.jp/jr_step/index.html (英検) <http://www.eiken.or.jp/>

【お問い合わせ先】

財団法人 日本英語検定協会 児童英検課 塩崎 s-shiozaki@eiken.or.jp TEL:03-3266-6121
内藤 k-naito@eiken.or.jp TEL:03-3266-6563

《アンケート結果》

【調査概要】

調査名：児童英検 第3回「英語をはじめとする学習に関する保護者アンケート」

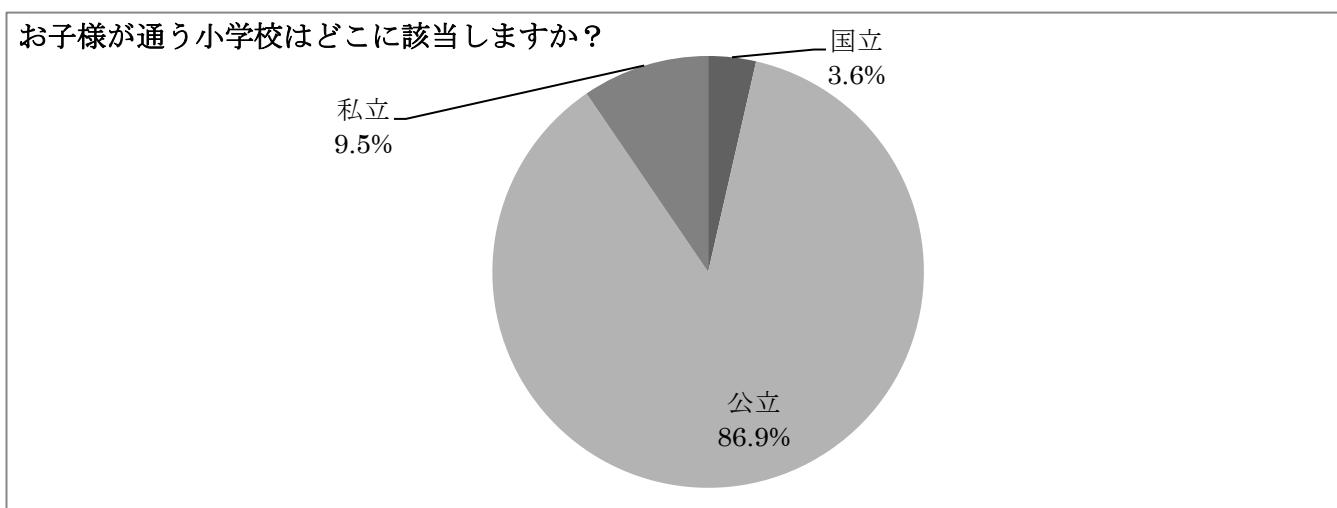
調査の対象：児童英検 公開会場受験者（児童）の保護者

会場：東京、大阪、名古屋の公開試験会場

有効回答数：84名

調査実施日：2011年2月6日（日）

調査の方法：児童英検 試験中、保護者控室にて実施（回答時間約15分）



児童英検とは？

児童英検は、(財)日本英語検定協会が主催する子どものための「育成型」テストです。子どもの成長に合わせた3つのグレードを設定し、英語学習の入門期にもっとも大切と考えられているリスニングを中心に構成されています。児童の英語能力の調査・研究を目的として1994年に創設し、2010年度までの累計志願者数は120万人を突破しています。昨今の小学校英語の広がりとともに、「客観的な外部評価」や「学習の動機づけ」として児童英検を活用する小学校が増えています。英語活動の成果をより客観性の高いデータで検証できる「特別版」児童英検は、特に先進的な英語教育が行われている地域で採用され、すでに全国21地区の特区・研究開発校が活用しています。必修化が始まり、新しい試みの成果・検証は、ますます注目が高まっていると思われます。

(財)日本英語検定協会主催

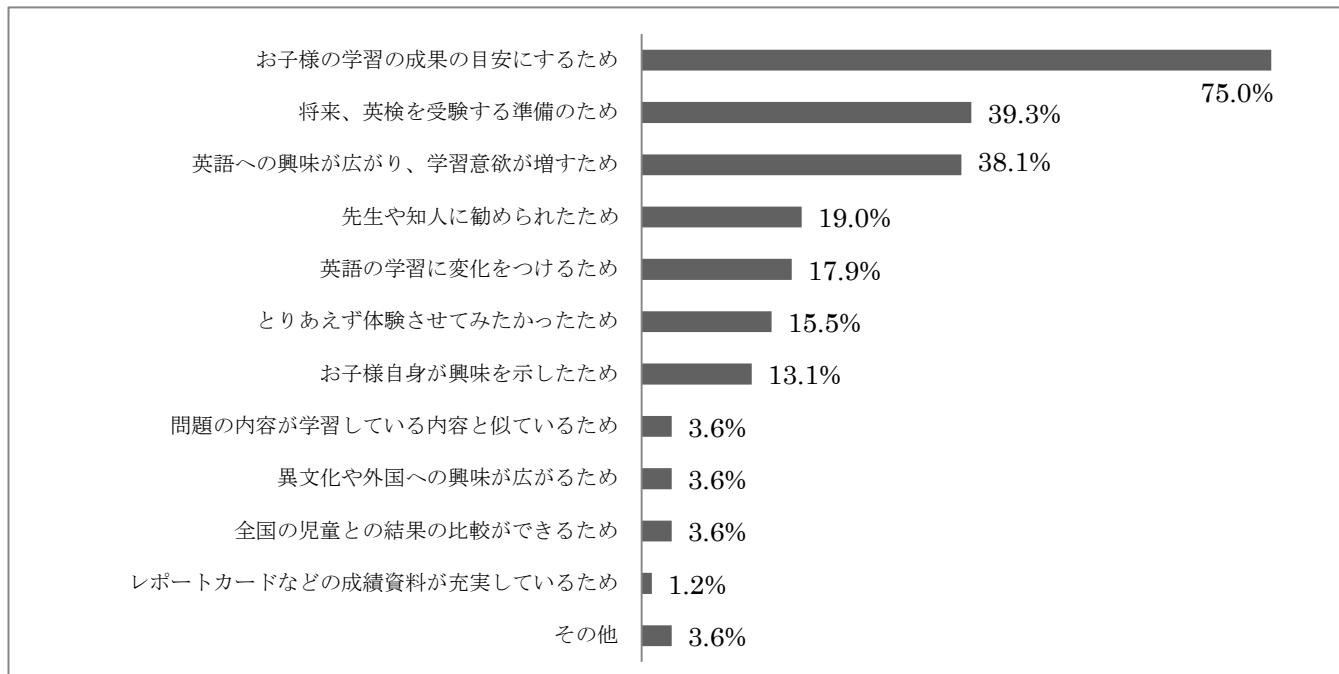
児童英検

※『こども“ワクワク”プロジェクト』とは

『こども“ワクワク”英語プロジェクト』は、英語に親しみを持ち、ワクワクしながら積極的に英語でのコミュニケーションを楽しめる子どもたちを育てるために2010年7月に発足したプロジェクトです。

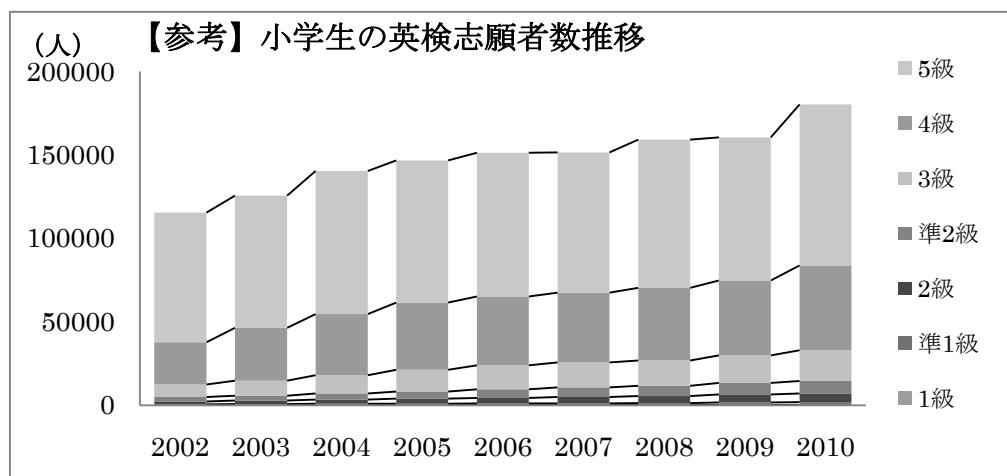
このプロジェクトはこれから時代を担う子どもたちが、“ワクワク”しながら英語を学び、広い視野を持って世界に羽ばたいて行ってほしいという願いを込め、英語学習の初期段階から、「英語と楽しく触れ合う」ことを目的とした活動を行ってまいります。子どもたちはもちろん、保護者の方々をはじめ教育関係者などを対象に、英語に関するアンケート調査の実施、分析、結果発表、情報発信、セミナーやイベントなど、さまざまな活動を行っています。

質問1 児童英検を受験させた理由は何ですか。(複数回答)



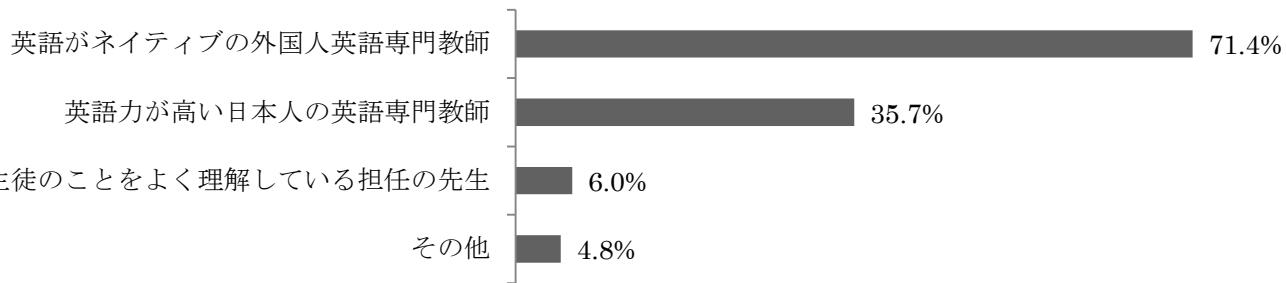
「学習の成果の目安にするため」が 75.0% と圧倒的に多く、すでに学んでいる英語の成果を確認するために受験させている保護者が目立ちました。次いで「英検を受験する準備のため」*(39.3%)、「英語への興味が広がり、学習意欲が増すため」という回答が多くなりました。

※実際に小学生の英検受験者数は年々増加傾向にあり、2010年度は延べ18万人が受験しています。
(下記グラフ参照)



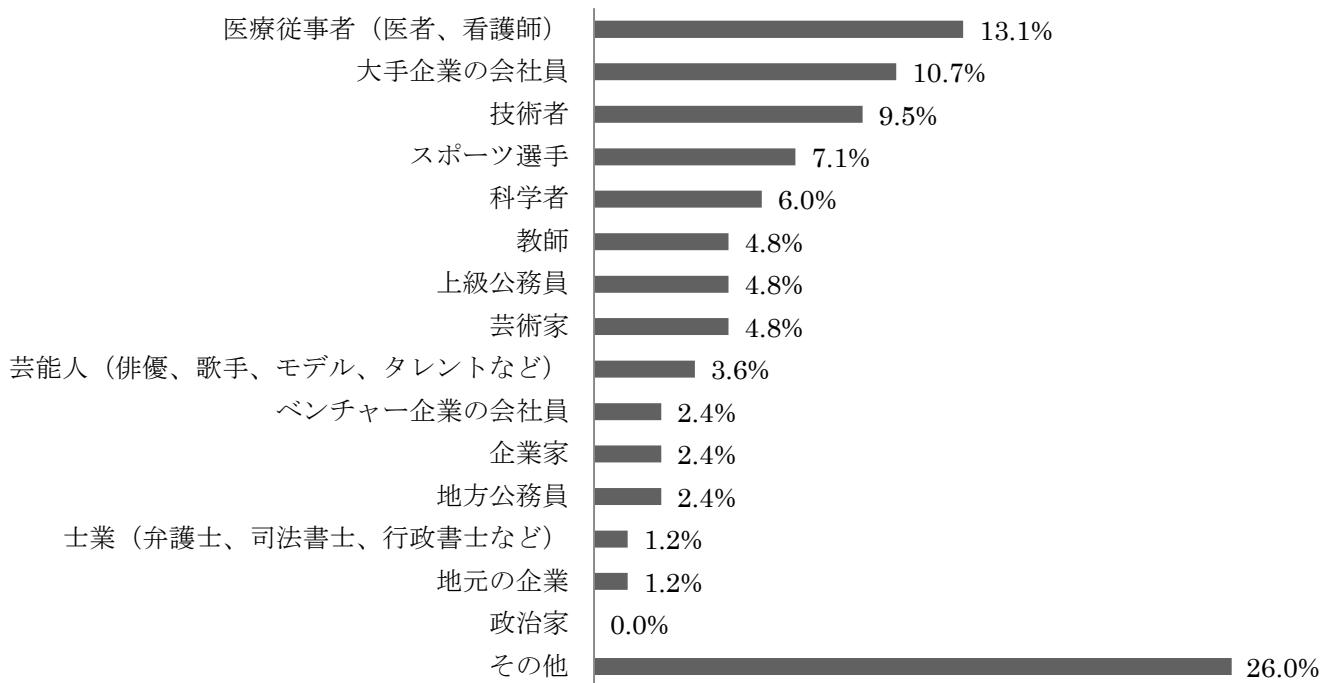
質問2 2011年4月から小学校の高学年で外国語活動が必修化されましたが、

小学校での英語の授業はどのような教師が行うのが理想だと思いますか？（複数回答）



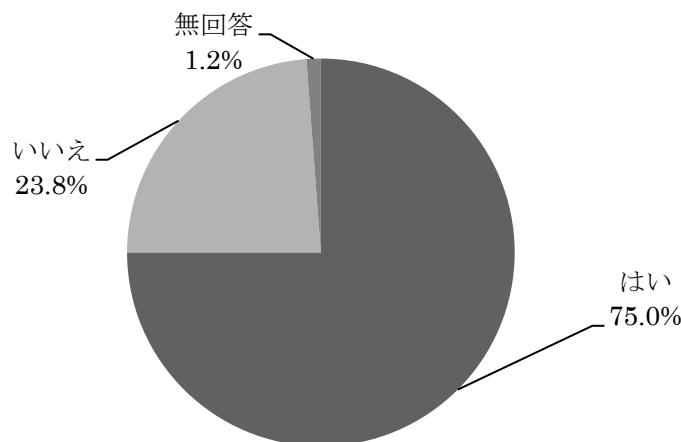
「英語がネイティブの外国人英語専門教師」という回答が71.4%と最も多く、次いで「英語力が高い日本人の英語専門教師」が35.7%となり、「担任の先生」は6.0%にとどまっています。日本人か外国人かという点では意見が分かれるものの、小学校の英語教育は英語専門教師が望ましいという回答が多く見られました。

質問3 お子さまにはどのような職業に就いてほしいですか？ひとつだけお選びください。



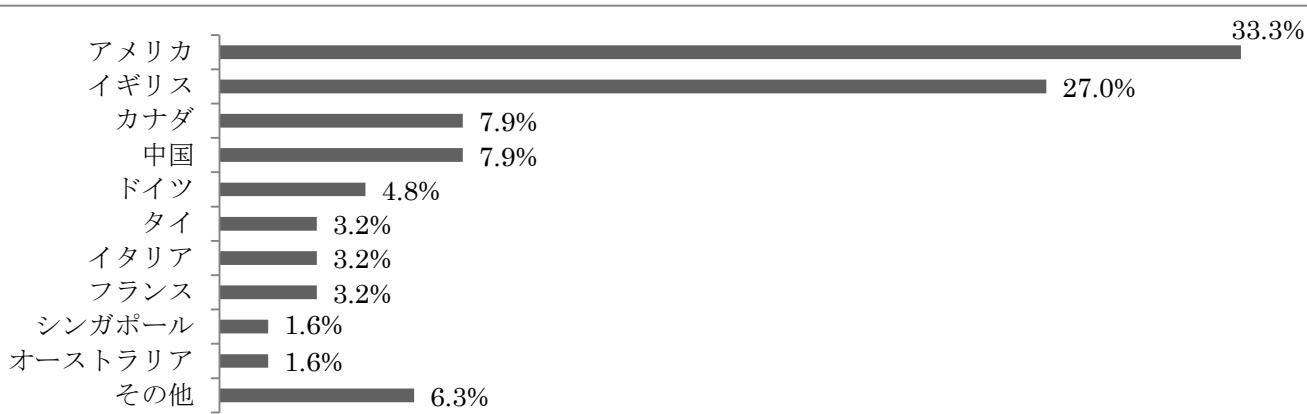
「医療従事者」が13.1%と最も多く、次いで「大手企業の会社員」(10.7%)、「技術者」(9.5%)となりました。また、「その他」の中では、「本人のなりたいもの」との回答が半数以上あり、本人の意思に任せたいと考える保護者も多いことがわかりました。

質問 4-1 お子さまに留学をさせたいと思いますか？



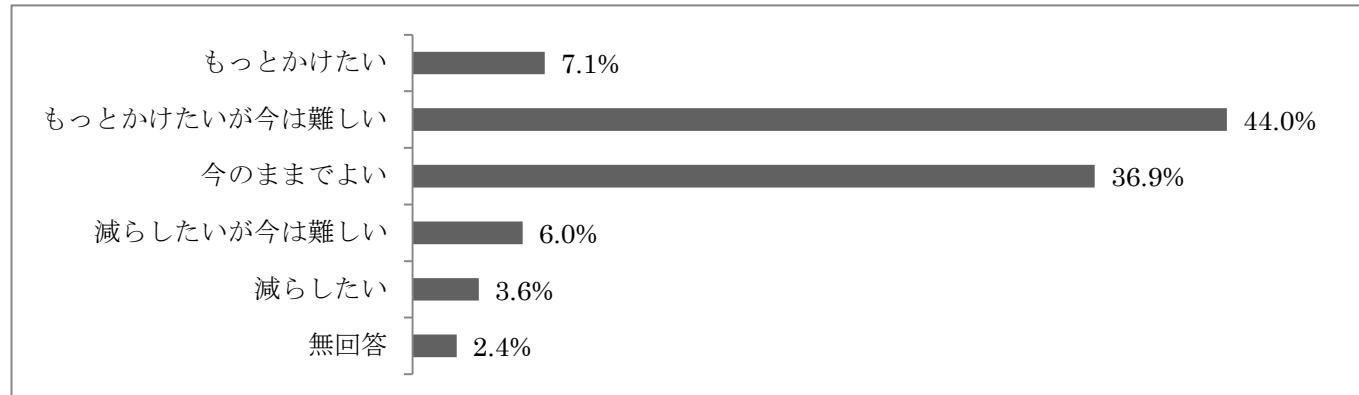
留学をさせたいと考えている保護者が 75.0% と多数を占めました。その反面、英語を学ばせてはいるものの、「いいえ」と回答した 23.8% オリ、留学が必ずしも英語学習の延長線上にあるものではないことがうかがえます。

質問 4-2 (質問 4-1 で「はい」と答えた方 n=63) どの国に留学させたいですか？



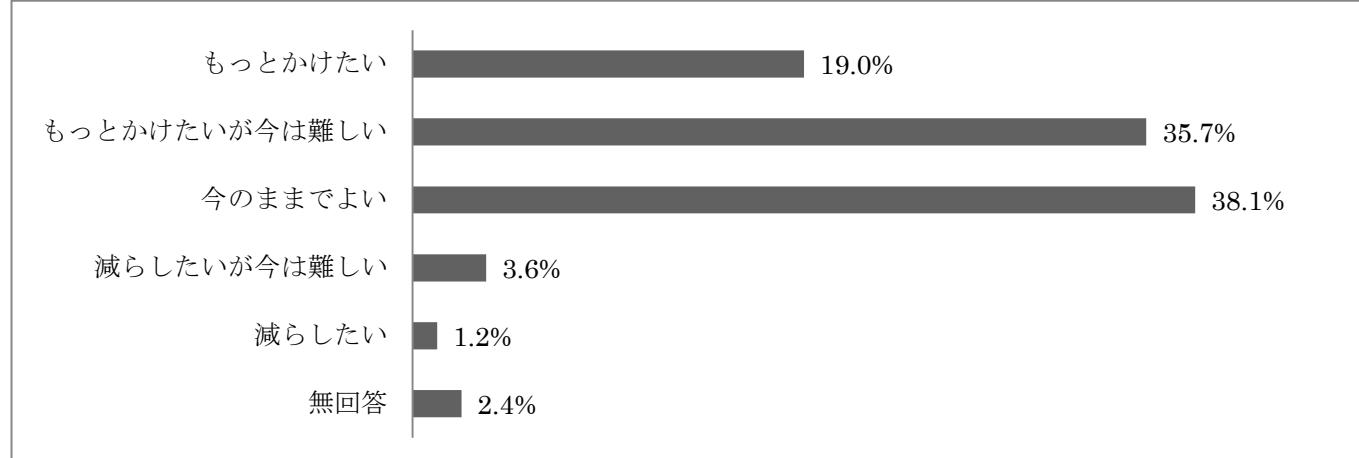
留学させたい国は「アメリカ」が最多で 33.3% となり、次いで「イギリス」(27.0%) となりました。英語圏だけではなく、「中国」(7.9%) が「カナダ」(7.9%) と並びました。

質問5 子どもの教育にかかる費用についてどう思いますか？



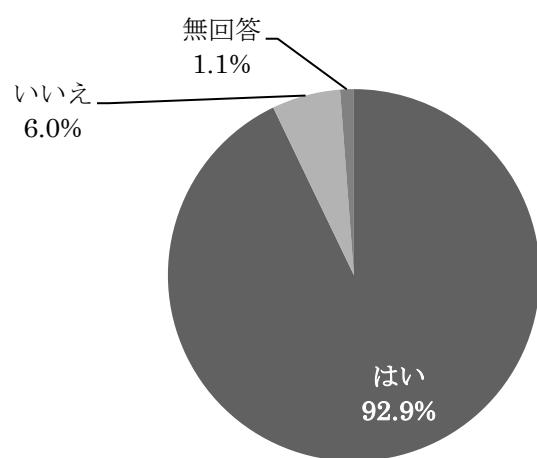
「もっとかけたいが今は難しい」(44.0%) が最も多く、「もっとかけたい」(7.1%) と合わせると半数以上が今以上に子どもの教育に対して費用をかけたいと考えていることがわかります。また「今までよい」(36.9%) も約4割を占め、「減らしたい」という答えは「減らしたいが今は難しい」を合わせても10%に満たない結果となりました。

質問6 子どもの教育にかかる時間についてどう思いますか？



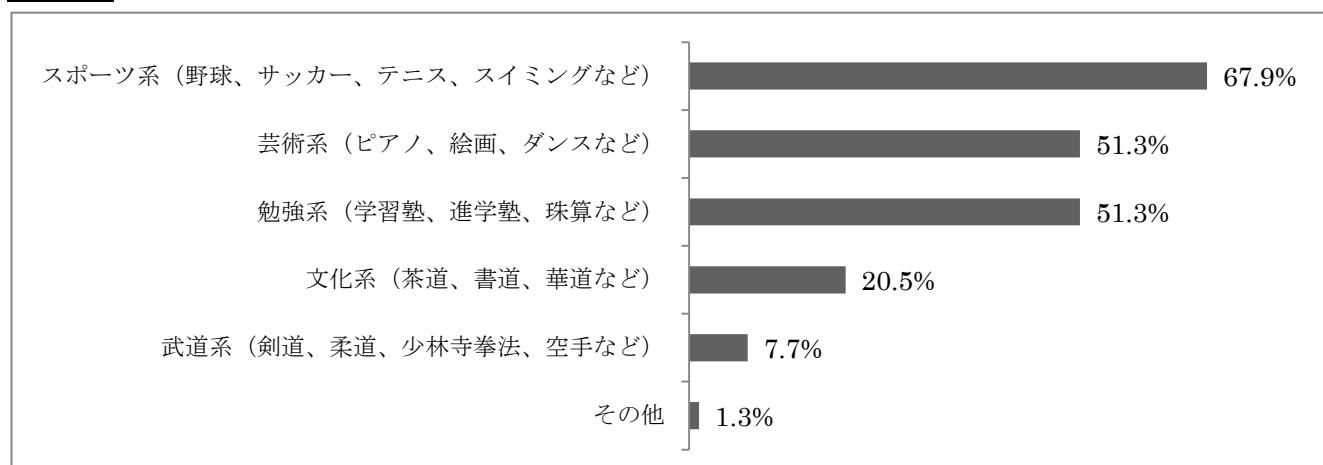
費用同様、「もっとかけたい」(19.0%)、「もっとかけたいが今は難しい」(35.7%) を合わせると半数以上になりますが、個別に見ると、「今までよい」との回答が38.1%と最も多くなっています。

質問 7-1 英語以外の習いごとをお子さまにさせていますか？



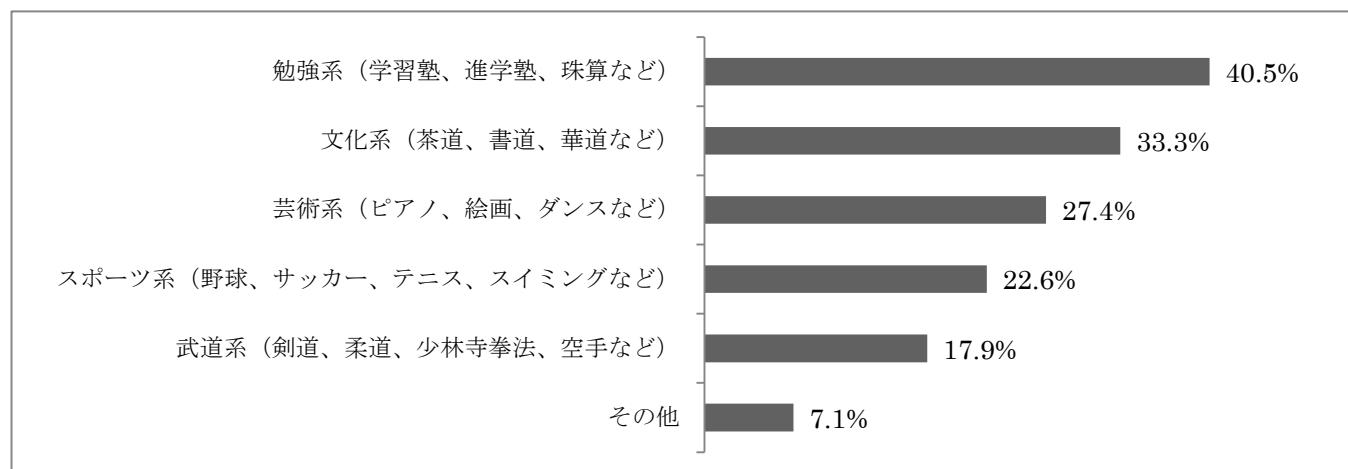
9割以上の保護者が「はい」(92.9%)と回答しました。英語だけでなく、その他の習い事もさせてバランス良く育ってほしいと考える保護者が多いことがうかがえます。

質問 7-2 (質問 1-7 で「はい」と答えた方 n=78) どんなジャンルですか？ (複数回答)



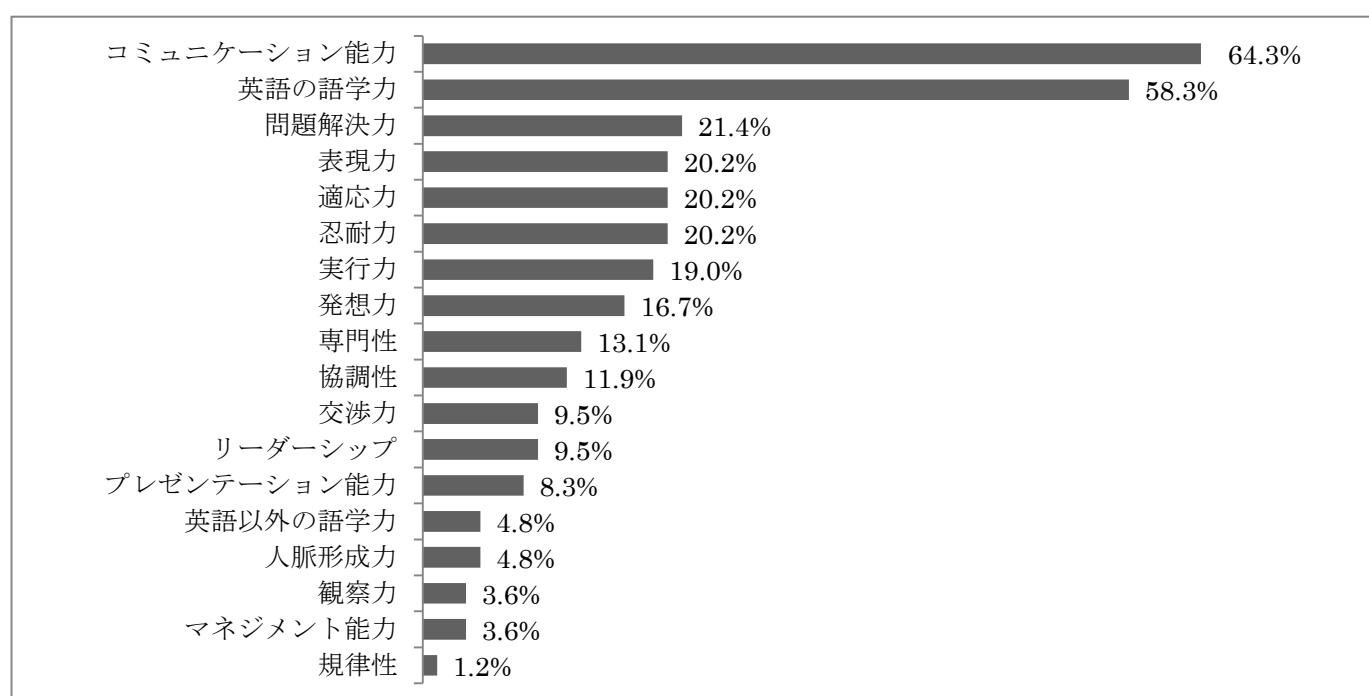
「スポーツ系」の習いごとが 67.9%と圧倒的に多く、次いで「芸術系」(51.3%)「勉強系」(51.3%)となりました。

質問 7-3 今後お子さまにさせたい習い事は何ですか？（複数回答）



今後させたい習い事を聞いてみたところ、「勉強系」が 40.5%と最も多く、次いで「文化系」(33.3%)となりました。実際に「文化系」の習い事をさせている家庭は 20.5%にとどまるものの（質問 7-2 参照）、今後習わせたいと考えている保護者が多いようです。

質問 8 将来のために子どもに身につけさせたいスキルは何ですか？（特に重要なと思うものを 3 つ）



将来のために身につけさせたい能力は「コミュニケーション能力」(64.3%) 「英語の語学力」(58.3%) の 2 つが圧倒的に高くなりました。